

■事業

ボアホール式地中熱交換器施工の内製化による付加価値及び利益向上

■対象類型

革新的サービス 新規顧客層への展開、商圏の拡大、顧客満足度の向上、機能分化・連携、サービス提供プロセスの改善

■導入機械装置

ボアホール式地中熱交換器施工機材

ハンマー掘削の自社施工設備体制を構築
作業の効率化、コスト・負担の軽減、短納期化を実現温泉・水源開発や地質調査の技術生かし
「地中熱」を新たなエネルギー源に

【経営理念】

- 1) 私たちは、「地質」「地下水」「地熱・地中熱」にかかる技術・技能を極め、お客様と地域社会のために役立てます。
- 2) 私たちは、ご縁を大切にし、お互いを尊重し合い、感謝の気持ちを持ち、謙虚に学び成長する仲間であり続けます。
- 3) 私たちは、安定した経営の継続と、やりがいある仕事の創出に全員で取り組み、社員とその家族の幸せを創出していきます。

温泉・水源開発や地質調査などを手掛ける協和地建コンサルタント株式会社。昭和35年の創業から手掛ける地すべり対策や地質調査はもとより、近年は地熱・地中熱活用事業に注力しており、「地質から地域を見渡し、水資源で地域を興す」を企業スローガンに、社業を推進している。

自社の特色を打ち出して他社との差別化を図るため、地球内部の熱源に由来する「地熱」、地表から200メートル程度までの地中にある「地中熱」を新たなエネルギー源として活用する事業の推進を模索。平成24年に地中熱を使った「地中熱ヒートポンプ空調システム」の販売事業を開始し、27年には、鳥取県湯梨浜町で地熱（温泉熱）発電施設の運営を始め、電力会社に売電している。しかし、これらの新しい事業を推進していく上で、掘削をする際にトリコン掘りと呼ばれる三つのピットを回転させながら掘り進む従来の掘削方法では日数がかかることから、補助事業によってダウンザホールハンマーによるハンマーの往復運動で打撃を与えながら掘り進む方式のボアホール式地中熱交換器を県内企業で初めて導入した。

優位性を既存・新規顧客にアピール
公共事業中心に事業拡大

ハンマーなど購入した機材で深度100メートルの試験掘りを行ったところ、仮設後4日間という短期間で掘り上げ、トリコン掘りに比べ約5分の1の工程で施工が可能となった。従来は自社が請け負った事業でも県外業者にハンマー掘削を依頼しなければならなかっただけに、自社施工設備体制を構築したことで、地中熱交換の効率化、作業員の負担軽減、コスト削減、工期の短縮など、その優位性を既存顧客はもちろん、新規顧客にもアピールすることが可能になった。

地熱・地中熱は、再生可能エネルギーとしての注目が集まっており、節電、省エネ、二酸化炭素排出量削減など環境にも優しい。今後は、ハンマー掘削の優位性を武器に、道路や駐車場の融雪・凍結防止をはじめ、公共施設や学校の冷暖房など公共事業を中心に取り組む考えで、鳥取



代表取締役社長 石倉 昭和



1 ダウンザホールハンマーを使った試掘



2

2 湯梨浜町で稼働している地熱（温泉熱）発電施設

県大山町内での駐車場の融雪事業など具体化している事業もある。また、地熱（温泉熱）発電では、湯梨浜町の施設が順調に稼働。ほぼ予定通りの売電や、発電後の熱水が二次利用として温泉施設に供給され、燃油代の節約などに貢献している実績を受け、松江市内での事業化の検討が進んでいる。

積極的な新規採用で地元雇用にも貢献

経営指針発表会、職場チーム活動、3S活動、清掃ボランティア・森林整備といった地域貢献など全社一丸となって取り組んでおり、社員のモチベーションが高く、人材確保に向け新規採用も積極的に行っている。2020年には創業60周年を迎えるが、温泉開発や地熱関係の提案ができる島根県内唯一の企業として、県内での事業を拡大して地元雇用を増やし、社員とその家族の幸せを願いながら社業の伸展に努めている。

■Company Data

協和地建コンサルタント株式会社



協和地建コンサルタント本社

代表者名：石倉 昭和
 設立年月：昭和35年1月
 資本金：2千万円
 従業員数：26名
 業種：技術サービス業
 住所：〒690-0011 島根県松江市東津田町1326-1
 電話：0852-21-0411
 FAX：0852-27-8729
 URL：http://kyouwacc.com/